

## 2022 年度:こども園自己評価の報告書

## 原田こども園

| 評価項目   | 取り組み状況  |
|--|---|
| <p>教育・保育方針<br/>教育及び保育の目標<br/>全体計画・指導計画<br/>こども園として特に配慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育課程</li> <li>・教育環境の整備</li> <li>・研究の取り組み 等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人と豊かに関わり合い主体的に遊ぶ環境作りを目指して」をテーマに、どの子ども生き生きと遊び、生活していける人的環境、物的環境を考え取り組んだ。</li> </ul> <p>今年度は、クラスの子どもの困っている状況を伝え合い、その中で子ども達一人一人が安心して遊び込める環境をどう作っていくのかを考えていった。実践報告会では、環境作りで改善したことが子ども達にどんな力をつけたのかを報告しあい、年齢にそくした環境作りを学ぶ機会となった。</p>   |
| <p>健康支援</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナやインフルエンザ・感染性胃腸炎等の感染状況を見ながら、園児一人一人の健康状態の把握を家庭と連携しながら行った。それと同様に職員一人一人が自らの健康管理に努めると共に、施設の消毒等感染拡大防止に努めた。</li> <li>・毎月の「ほけんだより」で感染症予防の啓発や体のこと・保健衛生の情報発信を行った。</li> <li>・身体計測や各検診や検査の時には、必ず目的と共に目の話・耳の話などを実施した。歯みがき指導や体の話等、年齢に応じた話をする事で、健康に対する関心や自身の体を大切にすることへの意識を高めた。</li> </ul> |
| <p>安全管理</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月初めに安全点検日を設け、園庭の固定遊具や保育室等の点検を行い、不具合のある場所には対策を講じ、全職員で確認していった。</li> <li>・毎月、火災や地震及び不審者対応等の避難訓練を実施した。火災の時は、2次避難として駐車場まで避難する総合訓練も行った。</li> <li>・交通安全の指導は、DVDや紙芝居を通して、園外遠足や登降園時に子ども達が交通ルールを意識できるように努めた。</li> <li>・ローリングストックを実施し、災害を想定した避難訓練を行い、防災について子ども達と考える機会とした。</li> </ul>      |
| <p>食育の推進</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の係がリーダーとなり、年間計画をたて、子ども達と共に季節の野菜を栽培し、収穫できた野菜を使ってクッキングすることで食への興味が持てた。</li> <li>・年長児は、厨房の職員と共に当番活動の中で野菜の皮むきなどを経験していった</li> <li>・日々の生活の中で、各年齢にあった取り組みを考え、年4回食育ボードで保護者に写真と共に子ども達の姿を伝えていった。</li> </ul>  |
| <p>子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園している子どもの保護者</li> <li>・地域の子育て家庭</li> <li>・地域との連携 等</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス懇談会は開催できなかったが、各クラスに親子写真と自己紹介のメッセージを掲示し知り合う機会とした。</li> <li>・地域の取り組みでは、地域の親子に、各クラスの担任が遊びを紹介して交流した。サークルでの水遊びやミニ運動会「1歳の育ち」「おやつ講座」等人数制限をしながら開催し、親子で共に楽しむ姿が見られた。園での園児の姿を通して関わりのポイントが分ったという感想が得られた。</li> <li>・校区連絡会を開催したり、職員がサロンに出向いたりして地域の親子と触れ合った。</li> </ul>                     |
| <p>教育・保育内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養護・健康・人間関係</li> <li>・環境・言葉・表現</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和月間の取り組みでは、ウクライナ侵攻に触れ、戦争に関する絵本を通して子どもや保護者を巻き込んで話し合う機会を作った。園として身近な問題として考える機会となった。</li> <li>・夏の遊びとして、プール遊びを再開するとともに、泥んこや色水遊び・石鹸遊び・寒天遊び等子ども達が自発的に意欲的に遊べる場所や遊び方を工夫して楽しんでいった。それぞれの楽しみ方で夢中になって遊んだり、友達同士が発見したことを認め合ったりする姿が見られた。</li> </ul>  |

|            |   |
|------------|---|
| 特別支援教育     | <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と連携を取りながら「共に育つ」の視点から、一人一人の育ちだけでなく、友達と関わり合うことでどんな力をつけてきたのか、クラス集団の中での子どもの育ちを確認していった。そして、次の課題を明確にしたうえで必要な支援の方法を職員間で共有していった。</li> </ul>   |
| 職員の資質の向上   | <ul style="list-style-type: none"> <li>人権研修の中で、園児虐待報道を受けて全職員で人権擁護のチェックリストをつけることで、子どもの思いにたってそれぞれが自分の保育を振り返る機会を作った。</li> <li>アドバイザー研修では、講師の助言をもとに、子ども達が主体的に友達と関わり合い遊び込める環境をどう作ってきたのか写真を通してクラスごとに伝え合い、年齢ごとの発達をおさえながら子ども達が何を楽しんでいるのかを学ぶ機会を作った。今後は、それを活かして保護者にもドキュメンテーション等を有効に使う発信していきたい。</li> </ul> |
| 幼保こ小中の連携   | <ul style="list-style-type: none"> <li>幼保こ小連絡会議の中では、コロナ禍でマスクをしている中で、相手の表情が読み取りにくかったり、目だけで判断したりとコミュニケーション能力に影響が出ていることを伝え合った。今後は、幼保こ小の中で接続や連携に向けての実践報告をもとに、知り合う機会を作っていきたい。</li> <li>年長クラスが、就学に向けて小学校探検という形で学校見学に行った。原田小学校とは、改修・増築工事期間中はさらに連携し、年間通して交流を考えていきたいと考えている。</li> </ul>                   |
| 関係者評価の取り組み | <ul style="list-style-type: none"> <li>評議員会では、造形月間で幼児交流している5歳児クラスの公開保育を行う。関係者の方の意見をもとに子ども達が遊びの中で何を楽しんでいるのか何に自信持っているのかを知る機会となった。また、引き続き地域が情報を共有しながら連携していくことを確認しあった。</li> <li>保護者アンケートの結果を受け止め職員間で共有し、今後も保護者が子どものことを相談できる関係を築いていけるよう努めていきたい</li> </ul>  |
| その他        | <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中ではあるが保育を伝えるために、運動会や生活発表会・保育参加等の保護者参加の行事を行った。乳児に関しては、ビデオを観てのクラス懇談会を開催し、子どもの成長を感じ合える機会を作った。</li> </ul>   |

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

| 課 題   | 具体的な取り組み方法   |
|---|--|
| 整備計画（改修・増築）に向けて安心・安全を第一に考えながらも子ども達の遊びや活動を保障していく | 次年度は、改修・増築の工事で園庭が使えないため、合同で過ごすことが多くなる。子ども達が、安心安全に過ごせることを第一に考えながらも、活動や遊びが保障できるように職員間で連携しながら、活動の工夫をしていきたい。 |
| 人権擁護の視点で自己評価を行う                                 | 人権擁護の視点で、常に子どもの思いを受け止め、子どもの気づき・発想を認めていく関わりや声かけを意識していけるように職員間で連携して保育の質を高めていく。                             |

令和5年（2023年）3月31日

豊中市立原田こども園

園長名 安井 永子